

GEF-Satoyamaプロジェクト

活動場所

- ・位置……………世界全体（10か国）
- ・フィールドタイプ……海・川・湖・湿地・森・田んぼ・その他（農地（水田以外も含む））

活動の目的

GEF-Satoyamaプロジェクトは、IPSIと密接な連携の下、世界10か国で現地パートナーと共に実証プロジェクトの実施、研究・情報発信、能力構築活動を行い、SATOYAMA環境が、住民の生活向上と生物多様性の保全および持続可能な利用を両立させるモデルとなることを示し、SATOYAMAのアプローチを、世界各地の土地利用や地域・国家開発に関する政策や計画に主流化することを目指します。

活動の内容

地球環境ファシリティ（GEF）の資金を受け、全世界のパートナーとの幅広い連携の下、下記の活動を実施しています。

1）現場型のプロジェクト支援

世界の生物多様性ホットスポット3地域で、現地パートナーが実施する10件のプロジェクトを支援しています。

2）知見の創出

生物多様性と人々の生活が相乗効果を生みながら共存する環境を創り、それを次の世代に伝えていくため、地図の作成やケーススタディーの分析など、様々な主体が政策や計画の立案に取り組む際に役立つ成果物を生み出していきます。

3）能力向上

IPSIや国連環境計画、生物多様性条約事務局と協力し、SATOYAMA環境の重要性の認知を広げたり、研修を実施することで、持続可能な社会の構築へ向けた課題に対する様々な関係者の対応能力を強化します。

今後の展望

2018年に、支援する全てのプロジェクトの代表と専門家を一堂に会し、知見を集結し、結果を生物多様性条約の場などで普及します。成果を政策へ組み込ませることで、より幅広く具体的なインパクトを目指します。

一言コメント

私共は、海外の取り組みが主ですが、SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークでの取り組みでは、海外の取り組みから得られる知見、発見、経験を国内に届けていきたいと考えています。日本発のイニシアティブが世界の持続可能な開発をけん引していくことを夢見て活動を展開しています。



CI / Devon Dublin

ペルーのモザイク状景観



CI / Yoji Natori

モーリシャスの伝統的漁場再生



TERI / Pia Sethi

インドの自主的保全地域の森林と川

実施体制

構成員：GEFの資金実施機関：コンサベーション・インターナショナル本部、プロジェクト執行機関：コンサベーション・インターナショナル・ジャパン、国連大学サステナビリティ高等研究所、地球環境戦略研究機関、活動協力：10か国の10団体、国際機関等

連絡先：〒160-0022 東京都新宿区新宿6-7-1-507
TEL 03-5315-4790
<http://gef-satoyama.net/>
<http://www.conservation.or.jp>
Facebook: Conservation.International.Japan
Blog: <http://ci-japan.blogspot.com>
Twitter: @CI_Japan